

国会通信

茨城選出の議員

ホルムズ海峡の 機雷掃海ただす

民主・藤田氏

民主党の藤田幸久氏(参院茨城)は19日、参院平和安全法制特別委員会で質問に立ち安倍晋三首相が衆院審議で集団的自衛権の行使例として示した中東・ホルムズ海峡での機雷掃海についてたまたした。藤田氏は、日本とイランが2013年11月

の共同声明で、ペルシヤ湾から太平洋への海上交通路の「航行の自由」の意義を強調したことを指摘。その上で、イランの領海にあるホルムズ海峡が集団的自衛権行使の対象になると例示していることについて、「事例として入れること自体が外交

上矢札千万なこと、全く不当なことだ」と批判した。

岸田文雄外相は「ホルムズ海峡は多くの国々の艦船が通行している。機雷敷設も攻撃国、被攻撃国に該当する国は特定できない」として、特定の国を想定していないと答えた。